

日本電波工業株式会社

第 84 期報告書

(2024年 4月 1日～2025年 3月31日)



株主の皆様へ



代表取締役執行役員社長
加藤啓美

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申しあげます。

2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の業績について

当社グループの当連結会計年度の連結売上高は前会計年度比5.5%増の53,064百万円、営業利益は同6.4%増の4,622百万円、税引前当期利益と当期利益は持分法適用会社に対する投資の減損損失458百万円を計上したため、それぞれ2,955百万円、1,792百万円となりました。詳細につきましては、インターネットのウェブサイト (<https://www.ndk.com/jp/ir>) に掲載している「第84回定時株主総会招集ご通知」記載の事業報告をご覧ください。

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の業績と配当見通しについて

売上高については、為替レートは昨年度と比較して、円高の進展を想定し140円で設定したこと、トランプ関税による市況の不透明さを考慮して530億円を予想しています。

トランプ関税の影響については、米国には車載向けの量産品を現地で製造している水晶デバイスメーカーが存在していないため、影響が出るとすれば中国から米国への輸出分であると見て影響額を算出しておりましたが、2025年5月14日

の米中協議の結果、対中関税が大きく引き下げられたこともあり、2025年4月7日に開示させていただいた内容に変更なく、直接の影響は限定的になるかと予想します。

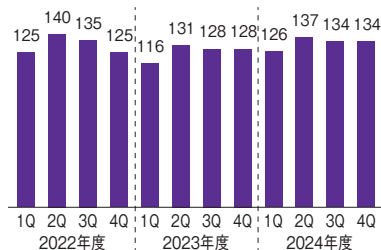
将来の事業成長に向けて、2025年度においては長期の持続的な成長に向けた大規模な先行投資を実施しております。このため、営業利益につきましては、長期の持続的な成長に向けた大規模な先行投資しておりますので、先行投資による固定費増を見込んで、対前年度比1,822百万円減の2,800百万円を予想しております。

なお、配当は通期30円を予定しています。

財務ハイライト（連結）

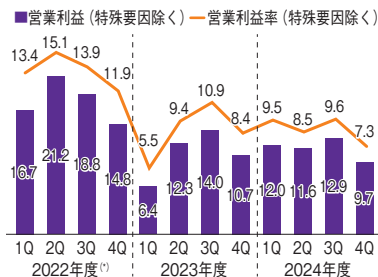
・売上高

（単位：億円）



・営業利益

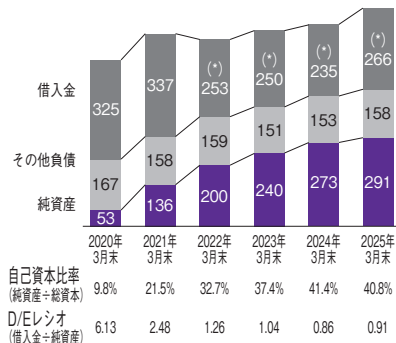
（単位：億円/%）



^(*) 2022年度特殊要因
マレーシア工場浸水に伴う受取保険金1,501百万円、
当災害に伴う損失費用等334百万円 (Net+1,167百万円)

・財務状況

（単位：億円）



^(*) 借入金はシンジケートローンに係るアレランジャーフィー調整後

新中期経営計画について

2010年代半ばは、水晶デバイス市場において中国・台湾メーカーが台頭し、日本勢を含む各社が積極的な設備投資を実施しました。その結果、水晶デバイス市場における需給バランスが大きく崩れ、当社は2017年度と2019年度に大幅な赤字を計上するに至りました。

こうした状況下、第1次中期経営計画では大規模な構造改革を実施しました。固定費の圧縮を断行し、不採算事業を中心に事業を抜本的に再編した結果、一定の収益性を創出する経営基盤を構築しました。また、5Gスマートフォン向けで製品の差別化に成功し、車載向けで大きく売上高を伸ばすことができました。

第2次中期経営計画（2022年度～2024年度）では、基幹事業である車載向け、移動体向けの収益基盤の改善を図ってまいりました。車載向けでの価格是正の実現、移動体通信向けでは5Gスマートフォンの高周波化ニーズに対応した高収益製品の販売増を実施し、一定の成果を果たしたと考えています。また、第2次中期経営計画の期間中、有利子負債の削減を進め、棚卸資産の管理を厳格化し、財務内容も大きく改善しました。その結果、自己資本比率を30%台から40%台まで改善し、目標としていた40%以上の自己資本比率は確保しました。

事業基盤、財務基盤に一定の成果を得たことから、2025年度を初年度とする第3次中期経営計画では、持続的な成長に向けて、景気変動の影響を受けにくく、安定した高い収益性と資本効率を重視した経営基盤の構築を目指します。

これを実現するため、次の4つの重要施策を進めます。

- ①高付加価値品の開発・新事業創出
- ②DX推進による生産性の飛躍的な向上
- ③資本の効率配分（車載、移動体通信から成長/新規領域への経営資源の再配分）
- ④事業基盤（ESG）の強化

新中期経営計画については、弊社ウェブサイト（<https://www.ndk.com/jp/ir/>）に掲載しておりますので、是非ご高覧賜りたく、よろしくお願いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

・2024年度通期の用途別売上高実績(前年同期比)

	売上高		
	23年度通期	24年度通期	前年比
車載	283億円	292億円	+9億円
移動体通信	87億円	104億円	+17億円
IoT	24億円	30億円	+6億円
産業機器	30億円	28億円	△2億円
民生	31億円	34億円	+3億円
医療機器	14億円	11億円	△3億円
特機 ^(*)	10億円	10億円	+0億円
その他	24億円	21億円	△3億円
合計	503億円	530億円	+27億円

(*) 特機では、防衛・宇宙向け周波数シンセサイザ、QCMセンサーを販売

・2025年度通期の用途別売上高見通し(前年同期比)

	売上高		
	24年度通期	25年度通期見通し	前年比
車載	292億円	292億円	+0億円
移動体通信	104億円	98億円	△6億円
IoT	30億円	31億円	+1億円
産業機器 ^(*)	37億円	39億円	+2億円
民生	34億円	30億円	△4億円
医療機器	11億円	13億円	+2億円
特機 ^(*)	10億円	16億円	+6億円
その他 ^(*)	12億円	11億円	△1億円
合計	530億円	530億円	+0億円

(*)1) FA関連向け売上高をその他用途から産業機器用途へ振替

(*)2) 特機では、防衛・宇宙向け周波数シンセサイザ、QCMセンサーを販売

NDKの事業領域

通信インフラ

NDKの製品・技術は、通信ネットワークインフラの構築にも貢献しています。NDKには、各世代におけるインフラ構築を支えてきた実績があり、現在進展しつつある5Gの基地局ネットワークシステムに対しても、さまざまな水晶デバイスを供給し、基地局の大容量で安定した通信を支えています。5Gのネットワーク整備は、今後さらなる拡大が予測されますが、NDKは既に次世代の通信である6Gを見据えた技術・製品開発にも着手しています。

スマートフォン

NDKの製品・技術は、スマートフォンなどエレクトロニクス製品の正常な稼働にも貢献しています。モバイル通信が5Gに移行し、通信が高速化する中で、水晶デバイスにもより高度な性能が求められるようになりました。NDKは、これまでに培った設計ノウハウと独自の技術を活かし、5G通信での高い要求に応えた小型かつ高周波の水晶デバイスを開発しました。その信頼性は多くの顧客に支持され、さらなる需要拡大につながっています。

テクノロジーを支える

鼓動

宇宙

人類の夢を乗せて宇宙へ飛び立つ人工衛星の内側でもNDKの水晶デバイスは活躍しています。打ち上げの衝撃・振動、激しい熱変動、高レベルの放射線など、宇宙空間では極めて過酷な状況下で性能を発揮することが求められます。JAXA（宇宙航空研究開発機構）から国内唯一の水晶振動子認定メーカーに指定されていることは、NDKの水晶デバイスの性能が評価されていることを証明するものだと言えるでしょう。



自動車

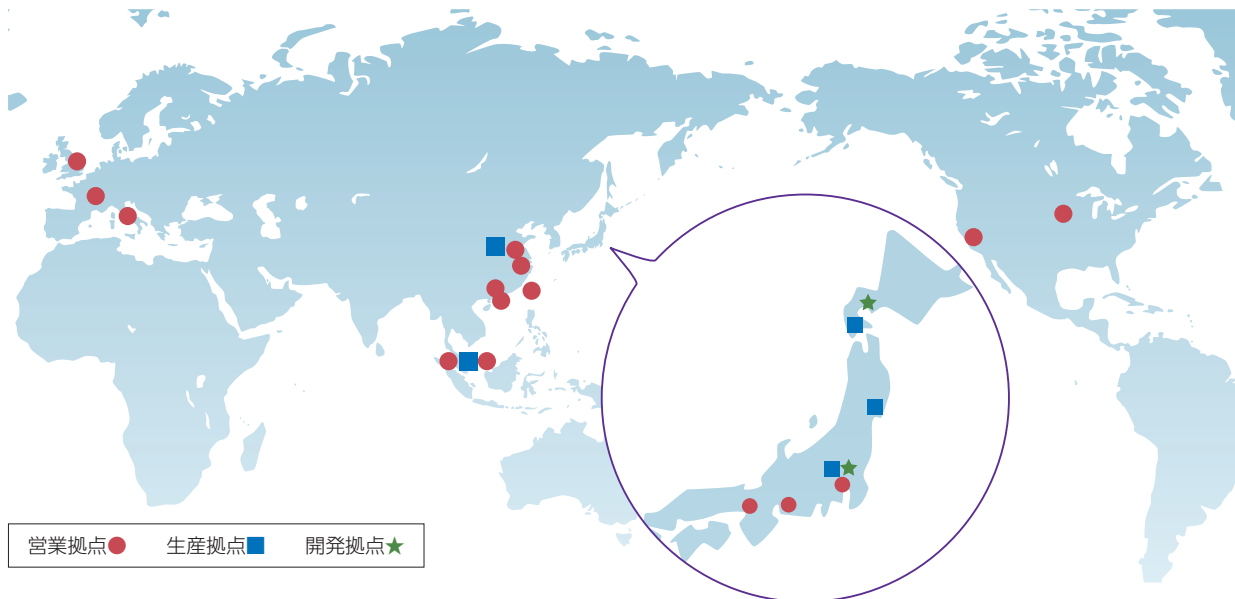
NDKの製品・技術は、エンジンやブレーキ、エアバッグの制御など自動車の安全性に貢献するほか、スピードメーターやカーオーディオ、TPMS（タイヤ空気圧監視システム）、キーレスエントリーシステムにも採用されています。さらには、次世代の自動車のカギとなるADAS（先進運転支援システム）や自動運転に貢献する領域に広がっており、そのポテンシャルは計り知れません。



ヘルスケア

医療・ヘルスケア分野における無線機器のニーズの拡大に伴い、NDKの水晶デバイスの活躍の場が広がっています。命を預かる重要な役割を担うため、品質の高さが大きな強みになっているのです。

NDKグループネットワーク



事業所及び営業所

- 本社事務所（東京都渋谷区）
- 関西営業所（大阪府大阪市）
- 中部営業所（愛知県岡崎市）
- ★ 狭山事業所（埼玉県狭山市）
- ★ 千歳テクニカルセンター（北海道千歳市）

国内関係会社

（国内生産拠点）

- 古川エヌ・デー・ケー株式会社（宮城県大崎市）
- 函館エヌ・デー・ケー株式会社（北海道函館市）

海外関係会社

（海外営業拠点）

- NDK AMERICA, INC.（アメリカ・イリノイ州）
- NDK AMERICA, INC. SILICON VALLEY OFFICE（アメリカ・カリフォルニア州）
- NDK AMERICA, INC. ORANGE COUNTY OFFICE（アメリカ・カリフォルニア州）
- NDK EUROPE LTD.（イギリス・ロンドン）
- NDK EUROPE LTD. FRENCH OFFICE（フランス・パリ）
- NDK EUROPE LTD. ITALY OFFICE（イタリア・ミラノ）
- NDK CRYSTAL ASIA PTE. LTD.（シンガポール）
- 台北日電波工業股份有限公司（台湾・台北）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司（中国・上海）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司深圳分公司（中国・深圳）
- 蘇州日電波電子工業有限公司営業部（中国・蘇州）
- ASIAN NDK CRYSTAL SDN.BHD. SALES DEPT.（マレーシア・セランゴール州）

（海外生産拠点）

- ASIAN NDK CRYSTAL SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- NDK QUARTZ MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- 蘇州日電波電子工業有限公司（中国・蘇州）

第84回定時株主総会決議ご通知

当社第84回定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたのでご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
- (1) 第84期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - (2) 第84期（2024年4月1日から2025年3月31日まで） 計算書類報告の件

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

第2号議案 取締役8名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、加藤啓美氏、上木健一氏、及川英之氏、菅原賢一氏、竹内謙氏、安樂恒樹氏、寛悦子氏が再任され、新たに相神一裕氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、安樂恒樹氏、寛悦子氏、相神一裕氏は会社法に定める社外取締役です。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、新たに森田功氏が選任され、就任いたしました。なお、森田功氏は会社法に定める社外監査役です。

以上

◎Information

当社WEBサイトでは最新のトピックス、詳細なIR情報などがご覧いただけます。当社における人工水晶の製造プロセスや、製品である人工水晶のラインナップ等を解説した『NDKのDNA「人工水晶」』という特設ページもございます。ぜひご覧ください。



● 製品情報



● 投資家の皆様へ



<https://www.ndk.com/jp/ir>

Q NDK

検索

<https://www.ndk.com/jp>

会社の概要 (2025年3月31日現在)

商号 日本電波工業株式会社
英文社名 NIHON DEMPA KOGYO CO., LTD.
設立 1948年4月15日
資本金 55億円
従業員 674名
主要製品 産業用水晶振動子、民生用水晶振動子、水晶発振器、人工水晶、光学用デバイス、QCMセンサ、信号発生器、周波数シンセサイザ

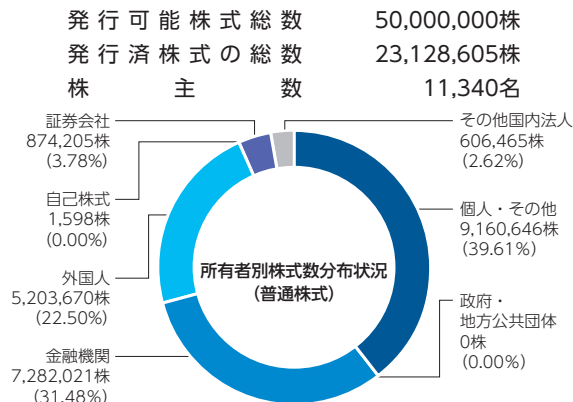
役員 (2025年6月26日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役執行役員社長	加藤 啓 美
取締役常務執行役員	上木 健 一
取締役常務執行役員	及川 英 之
取締役常務執行役員	菅原 賢 一
取締役常務執行役員	竹内 謙
社外取締役	安樂 恒 樹
社外取締役	寛 悦 子
社外取締役	相神 一 裕
常勤監査役	坂入 夏 彦
社外監査役	吉田 美 菜 子
社外監査役	森田 功

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会・期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
単元株式数 100株
公告方法 電子公告 (予備的公告方法は日本経済新聞)
公告掲載 URL <https://www.ndk.com/ir>

株式の状況 (2025年3月31日現在)



大株主の状況 (2025年3月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,174千株	13.72%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,397千株	6.04%
S I X S I S L T D .	1,000千株	4.32%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	794千株	3.43%
株式会社りそな銀行	667千株	2.88%
竹内敏晃	623千株	2.69%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	616千株	2.66%
株式会社埼玉りそな銀行	610千株	2.63%
RE FUND 107-CLIENT AC	540千株	2.33%
BANK JULIUS BAER AND CO. LTD. SG FAO WILL FIELD CAPITAL PTE. LTD.	379千株	1.64%

注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式の数 (1,598株) を控除して算出しております。なお、当該自己株式には、当社の取締役等に対する業績連動型株式報酬の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が所有する当社株式67,500株を含んでおりません。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
証券コード 6779